

の人たちは、とても大きな拍手をしてくれました。そして、7日目の夜に帰りました。ドイツでは、本当に獅子舞が成功して良かったです。本当に僕たちを泊めて下さった家族のかたには、感謝しています。

ドイツ体験記

井深 大くん

ドイツに行く数か月前までは、行く気はそれほど強くは出てなかったのですが、日にちが短くなるにつれて、不安が強くなつたのもそうなのですが、それと獅子舞団として自分のすべてを尽くせばいいかなと思つたからです。

ドイツに来てからは、ホストファミリーや言葉などいろんなことで心配していましたが、ホストファミリーの方々は僕たちに優しく、日本語で話してくれたり、食べ物も無理しなくて良いと言ってくれたりと勝手に来た僕たちにこんなにも優しくビックリしました。

一週間という長いような短いような7日間はあるという間でしたが、楽しいという印象しかありませんでした。初めての海外は何もかもが大きいと言つてかありませんでした。ビルなどの建物や教会、城、山、丘、川

などいろんなものがありました。トイレの維持費を払うのもビックリでした。

獅子舞では、ステージではあまりやった事がなかったので落ちないように気をつけていました。ステージは意外と広くて、獅子3人と花笠と笛などが入っても余裕がありとても大きいという印象を受けました。

ドイツの舞台で踊れて良かったです。あんな大きな舞台で踊つたのは思い出として残つて、今でもああ、踊つたな良かったと思つています。

将来、ドイツであつた7日間のことを役に立つ事ができたらいいなと思ひました。

そして、ビュアシュタットで出会つた方々にはいろんなことを感謝しています。

ドイツ・ビュアシュタット市

訪問レポート

設楽 雄貴くん

●自分の考えるドイツに行った目的

- ・皆野町とドイツビュアシュタットの交流を深めるため。
- ・ビュアシュタットで開催されるGymastica (世界体操祭)への参加。
- ・自分の英語力のチェック
- 体操祭についての感想

周囲の人の助けや、まわりの外国人の人のエールのおかげで、いつも以上に上手く舞うことができたと思います。

また、世界の人々に日本の文化である獅子舞を、少しは知ってもらえたと思います。

●ホームステイの感想

初めは、異国の地で全く理解できない言葉を話す人しかいないような家に行つて、本当に生きて帰つてこれるのだろうかと思ひました

しかし、日が経つにつれて徐々にコミュニケーションもとれるようになっていきました。

●ドイツの生活の日本と違つところ

・主食
日本では、米が主に食べられているがドイツではパンが主に食べられている。

・街並み
石畳で少し歩きづらかった。飛行機の中から見た街は、1つにまとまつていてそのまわりに畑がある感じでした。

・税について
ドイツの税は18%と表記されているものが多いですが、日常品の税率は5%で置物などは税率が高いということを知りました。

・価値観について
ドイツは古いものに価値を求めため、古い建物が数多く残っていました。

●まとめ

私はドイツに行つたことで、一回り成長できたと思います。

特に外国の文化や生活にこんなに密接に関わることは、なかなかできないはずなのでとても幸運に思っています。

こんな貴重な体験ができとてもうれしく思うとともに、またこのような機会があつたら是非参加したいと思ひます。

ドイツ旅行記

田中 健一くん

初めての飛行機。初めての外国。楽しみではありましたが、不安や緊張の波が僕を呑み込みました。

飛行機は、想像していたものとだいぶ違い、目の前にモニターがあるのには驚きました。

「ホームステイ」、これが一番不安でした。英語がそんなにしゃべれない、ドイツ語はもつとしゃべれない。そんな人間が、一体どうしてコミュニケーションをとるのかと思ひました。

しかし、いただいたドイツ語和訳版の本と、自分の分かっている英語を言うことで、そういつた不安はとり除けました。

そうして、そんな悪戦苦闘の毎日や、楽しく発見の多いドイツ観光の日が過ぎていくと、と

うとうメインイベント「世界体操祭」の日が訪れました。

いろいろな国から、いろいろな選手が競技するこの体操祭。

選手たちは、自分と同じかそれより下の人たちだということを知り、いろいろな意味で、世界は広いなあと思ひました。

盛大な開会式を終え、とうとう次の日、演技をするということになりました。

自分たちの出番が近づくにつれて僕は、緊張ではなく、早く踊りたいという気持ちが高まつていくのを感じました。

そして、演技終了。本当に楽しかった、やりきつたという感情が生まれてきました。

あのときほど感動することは、後にも先にもないだろう。

ここに書いたこと以外でも、ホームステイ先での出来事や思い出、ドイツ観光での色々な建造物、プールや博物館、ドイツでの獅子舞練習、体操祭での各国の演技、朝食会のこと、新聞で取り上げていただいたことなど、本当にたくさんの思い出があります。

それら一つ一つを文にするのは少し難しいので、ここまでにしたと思ひます。

今回のドイツ訪問で、本当に皆さんの事を学ばせていただきました。この場を借りてお礼を言わせていただきます。

「本当にありがとう、ございました。」